

日付：2025年 8月 28日（木）

今日の行き先

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	減酒治療アプリ、 保険適用「初」 来月始動 について	日経 10 特定の病気 ・医療保障	- 医療スタートアップのキュア・アップは、アルコール依存症患者向けの減酒治療アプリを開発、同アプリ「HAUDY」を沢井製薬が9月1日から販売すると発表した。健康保険適用により患者負担は月約2500円。アルコール依存は、その依存性だけでなく健康被害にも大きな影響があると、対策を求められている。 - 臨床試験では、同アプリを使用する群と使用しない群に分け、1日あたり男性では60グラム、女性では40グラムを超えて多量のアルコールを摂取する日数を12週間で比べた。4週間あたりにならした上で比較すると、ハウディを使った群は平均12.237日、使わなかった群は平均9.453日とそれぞれ減少した。 - 同アプリのような、「治療アプリ」の保険適用は初であり、今後がんや糖尿病などにも対象が拡大しつつある。開発コストは新薬より低く、医療費抑制効果も期待されるが、保険適用範囲には慎重な検討が必要とされる。	- 話題からお客さまの趣味趣向（好きなお酒等）等情報収集 - 左記話題から、日常のアルコール量等をヒアリング - 当資料の裏面を参考に、アルコールの摂取量により、生活習慣病のリスクにつながるアドバイスから、保障の必要性を訴求。加入保険の把握や保障の最新化・最適化まで
2	東京海上系、通話音声で 健康状態を把握 について	日経 9 保険会社 ・健康増進	- 東京海上HD傘下の東京海上ディーアールとPSTは、音声認識技術を活用し従業員のストレス状態を把握、離職率低下を目指す協業を開始した。 - PSTは音声から心身状態や病態を分析する技術を持ち、東京大学と共同研究で精度を向上させてきた。まず離職率が約3割と高いコールセンター向けにサービスを提供し、物流業界では点呼時の音声から事故リスクを早期発見し防止に役立てる取り組みを進める。	- 健康の話題から健康増進系商品の話題に波及。 - 創客やアプローチ、提案の機会・再提案の創出
3	mRNAを使う がん免疫療法の治験 について	日経 17 がん・ 医療保障	- 米VLPセラピューティクス（メリーランド州）は27日、メッセンジャーRNA（mRNA）技術を使ったがん免疫療法の臨床試験（治験）を米国で始めたと発表した。 - 同社は米国でワクチン研究に従事した赤畑渉最高経営責任者らが設立した創業スタートアップ。日本人が中心となった新たなmRNA技術によるがん治療の早期実用化を目指す。	- がんの話題として活用 - がん保障の最新化や拡充 - 一時金の保障だけでなく、最新の保障の訴求まで
4	通信制高校の生徒、 30万人超 最多更新 について	日経 38 創客・ ライフ	- 文科省調査で25年度の通信制高校生徒数は過去最多の30万5221人（前年比+5%）、全高校生の9.6%を占めた。過去5年で1.5倍に増加し、不登校の広がり背景にある。 - 学校数も20年前から倍増している。一方、不適切な運営事例が指摘されている。文科省は23年に認可基準を強化し、授業料や中退率などの情報公開サイトを開設する予定。	- お客さま情報の再収集（世帯情報や趣味・趣向等） - 創客やアプローチ、提案、再提案の創出

市況情報※

日経平均/前日比	42,520.27/ 125.87	定期預金金利(1,000万以上/10年)	0.500%
TOPIX	3,069.74/ ▲2.25	国債(5年)/前日差	1.155%/ 0.000
ダウ平均	45,565.23/ 147.16	国債(10年)	1.620%/ 0.000
上海総合指数	3,800.35/ ▲68.03	米国債(10年)	4.235%/ ▲0.029
ドル円	147.75-77 7銭安	中国国債(10年)	1.762%/ 0.006

今日は何の日

- テレビCMの日⇒
- 民放テレビスタートの日
- バイオリンの日
- 気象予報士の日

日本民間放送連盟が2005年に制定。
1953年のこの日に開始された民放テレビで、初のテレビCMが放送された。初のCMは服部時計店の正午の時報だったが、フィルムを裏返しにかけてしまい、音も不明瞭だった

誕生日うらない

本日生まれの方の特徴：冷静さと負けん気の強さを持つ激しい人

長所

- ・他人を大切にする
- ・愛想が良い
- ・直感が鋭い

短所

- ・堅物で面白みが少ない
- ・プライドが高い
- ・好き嫌いが激しい

誕生日花：サルズベリ

花言葉：雄弁・愛嬌・不用意・潔白・あなたを信じる

誕生日
カラー
紫色



詳細はこちら

本日の深掘りウォッチ：飲酒ががんや脳卒中等に影響！？少量でもリスクと説く、厚労省「飲酒ガイドライン」を紹介！

厚生労働省は、**飲酒のリスクや体への影響をまとめた初のガイドライン**、「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」を発表しました。このガイドラインは、年齢や性別、体質、疾病別で異なる飲酒による健康リスクを示したほか、酒量より「**純アルコール**」の摂取量に着目することが重要としています。今日は、このガイドラインで語られているポイントを紹介します！ぜひ、ご確認いただき活動にご活用ください！

1. まずは飲酒の把握の仕方を確認しよう！

お酒に含まれる純アルコール量は、下記の計算式で数値化できます。飲酒をする場合には、お酒に含まれる純アルコール量（g）を認識し、自身のアルコール摂取量を把握することで、疾病発症等のリスクを避けるための具体的な目標設定を行うなど、自身の健康管理にも活用しましょう！

お酒に含まれる純アルコール量の算出式

摂取量(ml) × アルコール濃度(度数/100) × 0.8(アルコールの比重)
例) ビール 500ml (5%) の場合の純アルコール量：500(ml) × 0.05 × 0.8 = 20(g)

2. 疾病別の発症リスクと純アルコール量

これ以上の飲酒をすると発症等のリスクが上がると考えられるもの

No	疾病名	飲酒量（純アルコール量（g））	
		男性	女性
		研究結果（参考）	研究結果（参考）
1	脳卒中（出血性）	150g/週（20g/日）	少しでも
2	脳卒中（脳梗塞）	300g/週（40g/日）	75g/週（11g/日）
3	虚血性心疾患・心筋梗塞	研究中	研究中
4	高血圧	少しでも	少しでも
5	胃がん	少しでも	150g/週（20g/日）
6	肺がん(喫煙者)	300g/週（40g/日）	データなし
7	肺がん(非喫煙者)	関連なし	データなし
8	大腸がん	150g/週（20g/日）	150g/週（20g/日）
9	食道がん	少しでも	データなし
10	肝がん	450g/週（60g/日）	150g/週（20g/日）
11	前立腺がん（進行がん）	150g/週（20g/日）	データなし
12	乳がん	データなし	100g/週（14g/日）

※厚労省のデータに基づく。1日当たりの数値は、研究結果の数値を7割った場合の参考地(厚労省ママ)

3. アルコールの代謝と飲酒による身体等への影響について

飲酒による身体等への影響について、エビデンスの一部をご紹介します

(1) 年齢の違いによる影響

- **高齢層**は若い時と比べて、体内の水分量の減少等で同じ量のアルコールでも酔いやすくなり、**飲酒量が一定量を超えると①発症の可能性が高まります**。
あわせて、飲酒による転倒・骨折、筋肉の減少（サルコペニア※等）の危険性が高まります。※サルコペニアとは、加齢に伴う骨格筋量低下に加え、筋力及び/又は身体機能が低下した状態のこと
- **若年層**（～20歳代の若年者）についても、**脳の発達途中であり、多量飲酒によって脳の機能が落ちる**とのデータがあるほか、健康問題（**高血圧等**）の**リスクが高まる**可能性もあります。

(2) 性別の違いによる影響

- 女性は、一般的に男性と比較して体内の水分量が少なく、分解できるアルコール量も男性に比べて少ないことや、エストロゲン（女性ホルモンの一種）等の はたらきにより、**アルコールの影響を受けやすい**ことが知られています。
- このため、女性は、男性に比べて少ない量かつ短い期間での飲酒で**アルコール関連肝硬変になる場合がある**など、アルコールによる身体への影響が大きく現れる可能性もあります。

健康増進に向けて国が定めた基本計画では、**生活習慣病のリスクを高める1日当たりの純アルコール量について、男性は40g以上、女性は20g以上**と示しています。20gはビール1本（500ml）、日本酒1合（180ml）に相当します！

参考)「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」(厚労省):<https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/001211974.pdf>